

森林整備と水

北都留森林組合
専務理事 長田助成

戦後、急速に広葉樹林を人工造林地に変えてきた日本の森林地帯はオイルショック以来、林業家の山離れが進み森林（人工林・天然広葉樹林）の手入れは森林組合に委託する方法で行うのみとなりました。森林組合は作業班の減少で委託に応えられない状態です。また補助金の減少で地主さんの負担が多くなり施業できない森林が多くなってきました。



植林の盛んな頃（30年代）は建築現場用として足場丸太が売れる時代があり1坪（1.8m×1.8m）当り1本植林したのでそのまま育った林内は間伐していないと暗く土が見えている



間伐をして地表に光を当てる



太陽の光が当たると下層木が育ち落葉もあり下草も出てくる



間伐された90年生のスギ林の中は落葉もあるし下草も育ち保水力のある強い山となっている